

令和7年度 外国語科 授業改善推進プラン

大田区立館山さざなみ学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・英語表現に親しみやすい英語の歌を導入することで、英語への苦手意識を減らすことができ、児童の学習意欲を高めることができた。
- ・毎時間、あいさつや日常生活についての音声や動画を聞く時間を設けたことで、表現に慣れて聞き取ることができたり、会話の中で使うことができたりした。

(2) 課題

- ・アルファベットの書き取りや、音声と文字をつなげて理解することにやや課題がある。
- ・例文を参考にしながら、自分のことについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことにやや課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第4学年			
第5学年		(第4学年時)	
第6学年	全体的に目標値を上回っているが、「書くこと」のみ平均をやや下回っている。	(第5学年時)	(第4学年時)

(2) 分析（観点別）

○高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近な単語や表現について聞き取ることができている。 ・動作に関する単語について、聞き取れていないことがある。 ・アルファベットの読みや書きについてやや課題がある。 ・身近で簡単な事柄についての対話を聞き、その内容を理解することができている。	・日常生活に関する対話を聞き取り、状況などを推測することができている。 ・例文を参考にしながら、自分のことについて書いたり、文章を完成させたりするところやや課題がある。	・聞き取りに関して、最後まで粘り強く聞こうとしている。 ・英作文について解答が分からなくとも、記述しようとする姿が見られた。

3 授業改善のポイント（観点別）

○高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・アルファベットを発音しながら書く動画を視聴し、発音しながら空書きをするなどして、音声と文字とをつなげて理解できるようにする。 ・動作の言い方に親しめるように、休みの日に自分がしたことなどを友達に伝える活動を取り入れる。	・単元末に、単元で学習した表現を使用し、自分の伝えたいことを書く時間を設ける。	・様々な語句や表現をインプットしたり、英語に興味をもったりできるように、英語の歌を授業の初めに歌うなどして豊かな表現に触れさせる。